

お 知 ら せ

平成28年3月29日
国土交通省中部地方整備局
入札監視委員会第二部会事務局

中部地方整備局入札監視委員会第二部会が第4回定例会議を開催 — 審 議 概 要 公 表 —

中部地方整備局入札監視委員会第二部会の平成27年度第4回定例会議を3月10日、中部地方整備局にて開催しました。

第二部会第4回定例会議では、発注工事等の中から抽出した5件の事案に係る一般競争の参加資格の設定等について審議を行いました。

入札監視委員会は、「公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律」に基づき、地方整備局長の委嘱に基づき設置された学識経験者等で構成する第三者機関です。

当該委員会では、中立・公正な立場で客観的に入札及び契約手続きについて審議を行い、意見の具申又は勧告を行います。

以下、審議概要についてお知らせします。

1. 日時及び場所

日 時：平成28年3月10日（木）10時00分～12時00分

場 所：中部地方整備局（丸の内庁舎） 会議室

2. 審議概要

別紙のとおり

3. 配 布

中部地方整備局記者クラブ

専門紙記者会

名古屋港記者クラブ

港湾新聞

港湾空港タイムス

日本海事新聞

海事プレス

4. 問い合わせ先

中部地方整備局総務部

契約管理官 岡本 耕司

電話 052-209-6316(ダイヤルイン)

FAX 052-203-9738

別紙1

平成27年度 中部地方整備局 入札監視委員会第二部会

第4回定例会議 審議概要

開催日及び場所	平成28年3月10日(木) 中部地方整備局(丸の内庁舎)		
委員	[部会長] 横溝 大 (大学院教授) 伊藤 倫文 (弁護士) 中村 友昭 (大学院准教授)		
審議対象期間	平成27年10月1日～平成27年12月31日		
抽出案件数	総件数 5 件	審議案件は別紙1-2のとおり	
入札・契約方式	件数	工事名等	
工 事	一般競争入札 (政府調達適用)	1 件	別紙1-2のとおり
	一般競争入札 (政府調達適用外)	1 件	
	工事希望型競争入札	0 件	
	通常指名競争入札	0 件	
	随意契約	0 件	
建設コンサルタント業務等 一般競争入札	1 件		
建設コンサルタント業務等 公募型プロポーザル	1 件		
役務の提供等及び物品の製造等 一般競争入札	1 件		
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回 答	
	別紙1-3のとおり	別紙1-3のとおり	
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	意見の具申又は勧告はなし。		

別紙1-2 抽出案件一覧表
【工事】

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事)

期間 平成27年10月1日～平成27年12月31日

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成27年度 名古屋港外港地区防波堤(鍋田堤)改良工事	港湾土木工事	8	8	12月18日	若築建設(株)	811,296	88.6	

(一般競争入札方式 : 政府調達に関する協定適用対象工事以外のもの)

期間 平成27年10月1日～平成27年12月31日

工事名	工事種別	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成27年度 四日市港外港地区東防波堤改良工事	港湾土木工事	2	2	10月1日	日起建設(株)	15,444	88.6	

【建設コンサルタント業務等】

(一般競争入札方式)

期間 平成27年10月1日～平成27年12月31日

業務名	業種区分	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成27年度 清水港興津岸壁(-10m)(改良)(耐震)地盤改良施工方策検討業務	建設コンサルタント等	1	1	12月22日	(株)ニュージェック	5,292	99.3	

(簡易公募型プロポーザル方式)

期間 平成27年10月1日～平成27年12月31日

業務名	業種区分	手続への参加資格及び業務実施上の条件を満たす参加表明書の提出者数	技術提案書の提出者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成27年度 新地震動を用いた防波堤等効果検証業務	建設コンサルタント等	3	3	10月26日	(株)日本港湾コンサルタント	31,752	99.4	

【役務の提供等及び物品の製造等】

(一般競争入札方式)

期間 平成27年10月1日～平成27年12月31日

業務名	業務分類	競争参加資格を確認した者の数	入札者数	契約締結日	契約の相手方	契約金額 (単位:千円)	落札率 (単位:%)	備考
平成27年度 三河港しおさい中間検査修理	役務の提供等	1	1	10月29日	千代田造船(株)	18,900	84.1	

別紙1-3 委員からの意見・質問、それに対する回答等

1.報告事項についての審議概要		
報告事項		
項目	意見・質問	回答
①工事の入札方式別発注一覧 ②建設コンサルタント業務等の入札方式別発注一覧 ③役務及び物品の入札方式別発注一覧 ④指名停止措置等の運用状況 ⑤談合情報等 ⑥再度入札における一位不動状況 ⑦工事種別ごとの低入札価格調査対象工事の発生状況	なし	

2. 抽出案件の審議概要		
会議の審議対象案件は、当番の委員が入札契約方式別に事務所毎の審議実績及び地域性、事業種別毎を考慮したうえで無作為抽出したものである。		
抽出案件	意見・質問	回答
1. 一般競争入札(政府調達適用)		
平成27年度 名古屋港外港地区防波堤(鍋田堤)改良工事	技術提案にかかる加算点が最も高い者と次順位である落札者の点差の理由は何か。	技術の優位性の評価項目で差がついたものです。落札者の提案は新技術ではありましたが、標準工法に対して優位性が認められず、一方で加算点が最も高い者の提案は新技術であり、かつ標準工法に対して優位性があると認められたためです。
	参加要件の施工実績について、土質改良5,000m3以上/件とした根拠は何か。	本工事は、ケーソンの中詰材土質改良を11,150m3施工するものであり、競争性確保の観点から、施工規模の1/2程度を要件として設定することとし、要件を5,000m3以上としました。
	本件は適正に処理された。	
2. 一般競争入札(政府調達適用外)		
	当該防波堤全体の改良工事は、今後どのような計画で進めていくのか。	本防波堤は、全体をAからFまでの工区で分けていますが、うちA区からC区の改良を順次行っていく計画です。なかでも老朽化の著しいA区について、本工事にて着手を開始したところです。

平成27年度 四日市港外港地区東防波堤改良工事	入札参加者が2者しかいなかったことについて、どう考えるか。	入札説明書を入手した者にヒアリングを行ったところ、競争参加資格に求める同種工事実績を持つ技術者が他工事に配置されていたため、本工事への参加を見送ったと聞いております。
	予定価格を超過している者の原因についてどのように考えるか。	提出された工事費内訳書と官積算を比較したところ、予定価格を超過した者は、直接工事費と共通仮設費については、官積算に近い金額であったものの、現場管理費と一般管理費については、官積算を上回ったことによるものです。
	本工事の発注規模は、標準的な規模になるのか。また、発注規模は入札参加者の数に影響を及ぼすと考えられるか。	本工事は、比較的小規模な工事です。一概には言えませんが、小規模な工事の場合、利益率が低くなることもあり、その結果、入札参加者が少なくなることもあると考えます。今後は、予算の制約もありますが、競争性確保のため発注規模を大きくするなどの対応も検討していきたいと考えます。
	本件は適正に処理された。	

3. 一般競争入札(建設コンサルタント業務等)

平成27年度 清水港興津岸壁(-10m)(改良)(耐震)地盤改良施工方策検討業務	本件と同一施工範囲のうち、地盤改良施工済み箇所の施工方策検討にかかる入札状況を教えていただきたい。	平成26年度に発注しており、1者応札で本件と同じ業者が落札しています。
	本件と同一施工範囲における設計業務等の入札状況を教えていただきたい。	設計業務等については、平成25年度から毎年発注していますが、それぞれ3者の応募がありました。
	昨年度と同じ者のみの参加となったことについて、どのように考えるか。	本件は、地盤改良工事施工途中で想定外の土性が確認されたため、緊急的に発注を行ったものですが、入札説明書を入手した者にヒアリングを行ったところ、履行期限が年度末であり技術者が確保できないこと、資料の提出期限まで時間的余裕がなかったことなどの理由により、参加を見送ったと聞いております。よって、本件については、発注時期やその日程に要因があったと考えます。
	本件は適正に処理された。	

4. 簡易公募型プロポーザル(建設コンサルタント業務等)

平成27年度 新地震動を用いた防波堤等効果検証業務	各者の評価において、どこに差があったのか。	特定された者は、評価項目のうち、管理技術者の過去の業務成績及び表彰の有無並びに実施手順の確実性の項目において、他者に比べ高評価を得ており、最大で11点の差がありました。一方、特定テーマに対する評価では、各者とも評価に大きな差はありませんでした。
	本件は適正に処理された。	

5. 一般競争入札(役務の提供等及び物品の製造等)

平成27年度 三河港し おさい中間検査修理	過去の普通修理や中間、定期検査の受注者はどこか。	昨年度を除き複数の応募者がありましたが、本件と同じ業者が受注しています。
	船舶修理については、過去の受注者が技術的に有利になるような特別な事情や条件があるのか。	そのような事情や条件は、ありません。
	これまでの入札状況に対して、参加要件緩和などの改善を行ってきたか。	平成26年度が1者応札であったことを踏まえ、今年度は、等級の拡大、施工実績及び保有施設の要件緩和を行いました。
	本件は適正に処理された。	

6. その他

	なし
--	----